

# いわみざわの民話

## 第36回

いわみざわの民話は、平成9年に「いわみざわの民話」刊行委員会が発行しました。

### 鶴沼物語 ①

毎年毎年北海道にもたくさんの渡り鳥が渡って来ました。

ある鳥は、北海道でひと休みして南に行くものもありました。ある鳥は、北海道で過ごすのもありました。夏になると南から渡ってきます。冬になると今度は北から渡って来るのです。ある年でした。たくさんの鶴が舞い降りてきました。村人たちは初めてのことなので、驚きながら集まって見に行きました。たくさんの鶴は、まるく囲みをつくっています。その中にケガをした鶴がいるようでした。たくさんの鶴は、今度は村人に向

かって盛んに鳴いています。集まった村人に、幸太という小鳥のたいそう好きな少年がいました。幸太は、鶴が助けを求めているのだということが判りました。

『安心して飛んでゆけや。ケガをした鶴は、俺（わ）が助けて飼っておいてやるからなあ。』と大きな声で叫びました。

すると鶴たちは、一斉に飛び立ち空の上で2度3度と田をかいて鳴きながら北の方へ飛んで行きました。後には幸太がいう通り1羽の大きな鶴がバタバタと飛べずに苦しんでいました。

幸太が走り寄って取り押さえ、村人たちに手伝ってもらってつれ帰り、近くの沼のあたりに小屋を作り、そこでケガの手当をしてやりました。



10日余りたつとすっかり良くなりました。そして、ある朝早く鶴は幸太たちに見送られて、ただ1羽北の国に飛んで行きました。

《続く》

第37回は「鶴沼物語②」を紹介し

発行・編集 岩見沢市総務部秘書課広報係

#### ひとの動き 平成25年1月31日現在

●住民基本台帳	人口 総数 88,532 人 (前月比 - 130)
	男 41,512 人 (前月比 - 87)
	女 47,020 人 (前月比 - 43)
世帯数	42,485 世帯 (前月比 - 49)

住民基本台帳法の改正で、平成24年7月から人口、世帯数とも、外国人を含んでいます。

この広報紙は道産間伐材配合紙を使用しています。

#### 岩見沢市役所

☎ 068-8686 北海道岩見沢市鳩が丘1丁目1番1号  
 ☎ 0126-23-4111 ㊚ 0126-23-9977  
 ホームページ <http://www.city.iwamizawa.hokkaido.jp>  
 ▶救急当番医ガイド ☎ 0126-23-5153  
 ▶消防テレホンガイド ☎ 0126-24-0119